

# 戸田市 施策評価シート

作成日	平成28年07月06日	作成者名	渡邊 昌彦	評価者名	栗原 誠
-----	-------------	------	-------	------	------

## 1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	07 人が集い心ふれあうまち	中心となる課	市民生活部・協働推進課
分野	05 国際交流・国際化・国内交流	関係課	市民生活部・協働推進課
施策	79 国際・国内交流の促進		
施策の目的	教育、文化、スポーツなどあらゆる活動を通じ、地域や国際貢献などの様々な協力活動を図ることができるよう、国内外の地域住民との相互理解や交流を促進します。		

## 2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	国内姉妹都市のPRの促進
取り組み②	国際交流の活性化
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

## 3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H22	H23	H24	H25	H26	H27
国内姉妹都市との交流事業数	国内姉妹都市、「児玉郡美里町」及び「白河市」との交流事業数	件	50	27	24	27	20	24	28
国外姉妹都市との交流事業数	国外姉妹都市、「開封市」及び「リバプール市」との交流事業数	件	10	9	1	4	1	2	2
その他施策の取組事項に係る成果									

## 4. 施策の展開 <ACTION>

課題	国際交流については、行政間交流及び民間交流共に多額の費用を要するとともに、現在の国際情勢や東日本大震災に伴う諸問題により、円滑に進めることが容易ではない。また、海外旅行及び留学の大衆化により、交流事業の評価も変化してきている。 また、国内交流について、福島県白河市とは、震災の影響や移動距離の問題もあるが、交流が活性化していない。	対応策	国際交流について、現在でも、互いの国を訪問しあうことは頻度や参加者数において限度がある。そのため、市及び国際交流協会の事業や支援を通じて、市民レベルも含めた友好交流と相互理解を深める取組を推進していく。特に、青少年の相互交流は教育効果が高く評価されているので、より多くの参加者となるよう引き続き積極的に実施していく。また、国内交流における白河市については、東日本大震災発生に伴う復興には時間を要するが、復興支援を含め、事業を継続的にまた積極的に実施していきたい。
----	--	-----	---

## ○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	国際交流事業については、青少年の派遣事業が実施され、リバプール市や開封市において、交流することができたが、受け入れについては、相手方の理由により実施することができなかった。国内交流については、予定された事業については、おおむね順調であった。
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	人員については、現在も最小人数で業務を遂行していることから、現状維持を確保したい。予算については、その年の事業内容（周年事業等）により変動は避けられないものの、適正規模を維持したい。
→		

## (評価者コメント)

国外友好・姉妹都市との交流においては、社会情勢を見極め、安全第一で実施すべきであるが、市民に対し、友好交流事業の意義及び効果について啓発するとともに、友好都市等の魅力を紹介することに力を入れ、市民の事業参加の拡大を図っていきたい。国内の交流においては、新たな事業も含め、両市との連絡調整を密にし、活発に実施していきたい。そして、国内外を問わず、交流を積み重ねていくことにより、市民レベルの友好交流と相互理解が深化し、戸田市への愛着が育まれることを期待したい。
---

